

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	10 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	政策担当部局	環境生活部, 保健福祉部, 経済商工観光部, 教育庁, 警察本部
			評価担当部局	環境生活部

政策の状況

政策で取り組む内容

様々な凶悪犯罪の発生などにより、県民は治安に対し不安感を持っています。警察や関係行政機関と地域社会の連携、さらには住民による自主防犯組織との連携により、治安日本一を目指します。

また、日本人と外国人が互いの文化や習慣の違いを認め合いながら、地域社会の一員として共に安心して生活していけるよう、多文化共生を推進すると共に市町村、関係機関とも連携し、外国人に対する相談体制や情報提供体制等の充実を図ります。加えて、留学等で県内に居住する外国人が、卒業後も県内を舞台として活躍できる環境の整備を図ります。

政策を構成する施策の状況

施策番号	施策の名称	事業費 (決算(見込)額, 施策の事業費合計)	目標指標等の状況	現況値 (測定年度)		達成度	施策評価
25	安全で安心なまちづくり	121,996千円	県民の体感治安(治安が良いと感じる県民の割合)	75.6%	(平成19年度)	C	概ね順調
			安全・安心まちづくり地域ネットワーク数	4	(平成19年度)	A	
26	外国人でも活躍できる地域づくり	17,868千円	多文化共生推進施策を実施している県内市町村の割合	80.6%	(平成19年度)	A	概ね順調
			日本語講座開講数(市町村数)	14	(平成19年度)	B	
			日本語講座開講数(箇所数)	26	(平成19年度)	B	
			国際交流事業で海外と往来した延べ人数	3,266	(平成19年度)	C	
		千円					

※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

政策評価(総括)

政策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由・各施策の成果の状況
・各施策の成果等から見て、政策の進捗状況はどうなっているか。	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・施策25で重点推進項目として「子どもの見守り活動の推進」を掲げ、地域活動として5分間見守り運動の展開がみられた。また、ネットワークモデル事業では、地域内の自主的活動団体の連携のもとに地域内の課題が解決するなど成果があった。 ・施策26で相談センターを開設し目標を上回る相談が寄せられたり、ボランティアの全体数を確保できるなど着実な進展がみられる。 ・以上のことから、だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくりは、概ね順調に推移していると考えられる。

政策を推進する上での課題等 ※施策の必要性・有効性・効率性の観点からの課題等

・施策25の「安全・安心まちづくり」について、効率的に事業を進めるために住民による自主的な防犯活動への関心、認識の向上に向けた事業に取り組む。また、「みやぎ安全・安心活性化プラン推進事業」について、スクールサポーターの派遣要請が多く、すべてに対応できなかったことから、増員に取り組む。

・施策26の外国人でも活躍できる地域づくりについては、県民意識調査結果で「わからない」の割合が高い。関連事業が外国人県民や海外を対象としているものであるが、施策の展開には、県民の理解、協力が不可欠なことから、普及啓発に努めると共に平成19年7月に策定した「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」に基づく推進計画の策定に取り組む。